

研究課題番号	5-1703
研究課題名	農薬の後作物残留を未然に防止する登録制度の提案
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	88,904 千円
研究機関名	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
研究代表者名	清家 伸康

1. 評価者の指摘及び提言概要

後作物残留試験の可否を農薬の物理化学特性から判定できるかどうかや後作物試験を実施するに当たっての条件（土壌種、作物種、作期など）を圃場試験やモデル計算で詳しく検討し、農薬登録制度の改正に役立つ多くの新しい知見を得ているので、期待通りの成果が得られたと思う。特に、後作物残留濃度を予測するためのモデルが構築できた点は大いに評価できる。根菜類で観察された農薬の濃度の意義などを含め、目標としてどの程度のリスクを許容することを想定するのかなど、今後の展開に係る検討も期待される。

ただ、予測結果から、「農薬の物理化学特性に基づいたトリガー設定は困難で、一律に後作物残留試験を実施する必要がある」と結論している点や提案された新たな登録制度のフローについては少し早計に感じる面もあるので、モデルの検証や精緻化を行った後に再度きめ細かく検討して欲しいと思う。

2. 評点

総合評点：A